



令和7年はたちの成人のつどいが1月12日、観月台文化センターで開催されました。今年は70名がはたちの成人を迎え、華やかな振袖やスーツに身を包みに臨みました。

会では、村上利通町長が「この町で育まれた心、つないだ絆が、皆さんの未来を力強く支えてくれるでしょう。どんな夢を描き、どんな人生を選んで、私たちはその夢の実現を心から願っています。皆さんらしい人生を歩んでください」とお祝いのご言葉を述べ、エールを送りました。また、一人ひとりの名前が読み上げられた後、代表の鳴原直央さんにはたちの成人証書が手渡されました。

はたちの成人を代表して鈴木咲千さんが「これまでご指導いただいた先生方、成長を温かく見守ってくださいました地域の皆さま、そして一番に愛情を注ぎ常に支えてくださった家族に心から感謝します。この町で育ててもらったように、これからの子どもたちが安心して成長できるよう、恩返ししていきます」とお礼のご言葉を述べ、はたちの成人としての誓いを新たにしました。

会の終了後には、実行委員が企画した記念レプションが開催され、友人や恩師との久しぶりの再会を喜び合い、思い出話を花を咲かせました。参加者たちは、新しい時代を担う決意を胸に、大人への一步を踏み出しました。

夢と希望を胸に— はたちの笑顔はじける

はたちの成人のつどい

R7.1.12 国見町観月台文化センター

中学時代にYouTube配信したグループで再活動を目指します！



お父さん、お母さん 20年間ありがとう。これからいっぱい親孝行します！大好き！



両親をはじめ、今まで支えてくれた皆さんに感謝します。これから恩返しできるように頑張ります。



将来の夢、今後の抱負、感謝の気持ち—。人の数だけ思いがある。キラキラした成人の皆さんに今の気持ちをインターネットで届きました。

「はたちの」の
気持ち